

# Kandai Style

2015.10 Vol.444

関西大学通信



学生コラボ企画第一弾

“WHAT'S  
グローバル人材!?”

130  
KANSAI  
UNIVERSITY

学生コラボ企画第一弾

## 「WHAT'Sグローバル人材!?」

### Q あなた自身が考える「グローバル人材」に必要なスキルとは?

スキルに関する16項目の選択肢より、5項目を選択して回答。(結果は上位3位まで掲載)

■ ビジネスリテラシー=ビジネスで必要な能力 ■ グローバルリテラシー=海外で生活する上で必要な能力

法学部	文学部	経済学部	商学部
1 Native Speakerと対等に英語を話すことができる	1 Native Speakerと対等に英語を話すことができる	1 聞き上手	1 自分の意思を行動に移すことができる
2 場の状況に応じた言動をとることができる	2 場の状況に応じた言動をとることができる	2 話し上手	2 人脈作りがうまい
3 話し上手	3 国内外の時事知識が豊富	3 さまざまな手段を使って情報を収集できる	3 時代のニーズに合わせて戦略的に計画を立てられる
			学部内での学びの影響の可能性

  

政策創造学部	社会学部	総合情報学部	社会安全学部
1 Native Speakerと対等に英語を話すことができる	1 話し上手	1 聞き上手	1 Native Speakerと対等に英語を話すことができる
2 話し上手	2 聞き上手	2 Native Speakerと対等に英語を話すことができる	2 聞き上手
3 さまざまな手段を使って情報を収集できる	3 Native Speakerと対等に英語を話すことができる	3 聞き上手	3 場の状況に応じた言動をとができる

  

外国語学部	人間健康学部	理工系3学部	教員
1 異文化を理解した行動ができる	1 聞き上手	1 話し上手	1 异文化を理解した行動ができる
2 異文化に対する先入観に左右されない	2 話し上手	2 聞き上手	2 异文化に対する先入観に左右されない
3 Native Speakerと対等に英語を話すことができる	3 Native Speakerと対等に英語を話すことができる	3 Native Speakerと対等に英語を話すことができる	3 Native Speakerと対等に英語を話すことができる

グローバルスキルを重視する傾向は長期留学経験が強く影響しているのでは?



グローバルスキルがトップ3に!在外研究や海外滞在での異文化経験から学生と異なるグローバル人材のイメージなのかも!  
専門的な知識を深めたり、外国語を学ぶことも大切!

### スキルの考察

- 「Native Speakerと対等に英語を話すことができる」が関大生の考える、グローバル人材に必要なスキルであることが判明。
- 自分の意思を相手に伝えられるかという「発信力」よりも、相手の話を素直に聞ける「受信力」が上位にあがったのは、ミス・コミュニケーションに対する危機意識の高さや慎重さから出た回答だらうか?
- 学部で学ぶ内容によって、ビジネスまたは、グローバルリテラシーのどちらを重視するのかが異なる可能性があるのでは?



OPINION OF PROFESSOR  
外国語学部長 竹内 理教授

関大には、人がいる。

学生たちは、このプロジェクトで「グローバル人材とは何か」という疑問を、誰に強制されることもなく調べ上げ、答えを得ようと試みました。この活動は授業の一環ではなく、有志による自主的なものです。それ故、モチベーション

の維持、離脱するメンバーへの対応など…ここには書き切れないほどの苦労や葛藤があったと聞いています。しかし、彼らは1つひとつ解決していくながら、このような成果を生み出したのです。  
大学での学びは、知識を蓄えることだけでなく、彼らのように蓄積された知識を活用し、自分を変え、周りを巻き込み、新たな経験と成果を生み出すことがあります。このような学びを「デザインする力」こそが、関大グローバル化の原動力になるのでしょう。手垢にまみれた「グローバル化」という言葉を、新たな視点から見直すチャンスを与えてくれたことに、We are proud of you all. と声をかけてやりたく思います。まさに「関大には、人がいる。」のです。

### 関大生ランクイン

#### スキル



Native Speakerと対等に英語を話すことができる  
意志が強い

#### 資質



Native Speakerと対等に英語を話すことができる  
1位



話し上手  
2位



異文化を理解した行動が取れる  
努力をする  
3位



話し上手  
2位



異文化を理解した行動が取れる  
努力をする  
3位



外國語学部  
2位



人間健康学部  
3位



理工系3学部  
2位



教員  
3位



文学部  
2位



経済学部  
3位



商学部  
2位



政策創造学部  
3位



社会学部  
2位



総合情報学部  
3位



社会安全学部  
2位



教員  
3位



外國語学部  
2位



人間健康学部  
3位



理工系3学部  
2位



教員  
3位



文学部  
2位



経済学部  
3位



商学部  
2位



社会安全学部  
3位



政策創造学部  
2位



総合情報学部  
3位



社会学部  
2位



外國語学部  
3位



人間健康学部  
2位



理工系3学部  
3位



教員  
2位



外國語学部  
3位



文学部  
2位



経済学部  
3位



商学部  
2位



社会安全学部  
3位



政策創造学部  
2位



総合情報学部  
3位



社会学部  
2位



外國語学部  
3位



人間健康学部  
2位



理工系3学部  
3位



教員  
2位



外國語学部  
3位



文学部  
2位



経済学部  
3位



商学部  
2位



社会安全学部  
3位



政策創造学部  
2位



総合情報学部  
3位



社会学部  
2位



外國語学部  
3位



人間健康学部  
2位



理工系3学部  
3位



教員  
2位



外國語学部  
3位



文学部  
2位



経済学部  
3位



商学部  
2位



# “WHAT'Sグローバル人材!” 学生コラボ企画第一弾 海外で活躍している日本人に聞いてみました!

Q Native Speakerと対等に話さなければ、全く通用しない?

- 職業によって違いますが、海外で生活することだけなら、高度な外国語は特に必要ありません(イギリス・フィリピン)。
- 外国語を完璧にするよりも、**話す内容や真摯に語る姿勢**の方が大切(中国)。
- 英語に関して言えば、日本人はある程度話せるのに、**自信がないだけ**(ニュージーランド)。

学生アンケートでは、多くの学生が外国語運用能力を最重要視していました。

Q 外国語運用能力に対して、異文化理解の重要性は?

- 異文化に敏感になることはとても重要。言語だけでなく、その国の文化・習慣を深く理解することが人々とより強くつながるポイント(イギリス)。
- 異文化に対する差別や偏見をせずに、**さまざまな価値観の存在を認識する**ことが大切(中国)。

学生アンケートでは、異文化理解に関するスキルがあまり選ばれていませんでした。

Q 好奇心とグローバル人材との関係は?

- 日本で経験できないことをしてみたいという好奇心こそ、世界へ飛び立つ起爆剤です(中国)。
- 好奇心を糧に努力できることは、グローバル人材の条件である以前に、より良い人生を生きることにつながる(オーストラリア)。

比較的多くの学生が、「好奇心があること」を重要な資質として挙げました。

## 彼らのコトバが 教えてくれること

① 外国語運用能力以上に大切なことがある

自分の主張を伝えようとする強い意志や真摯な姿勢、異文化への理解と価値観の認識、深く幅広い人脈を築く努力、そして、自分を突き動かす好奇心。**言語以外の面で強さを発揮できるかどうかが鍵**となってくるようです。

② 対人関係の困難や障害は、異文化だから…だけではない

異文化理解を試みる上で、**対人関係におけるあらゆる困難や障害は、個々人の考え方や姿勢の違いから発生することも多い**ということです。

③ 学生が今、すべきことは「自分への投資」

学生時代に、**自分の好きなことを極め、自分を磨き上げることが大切**。また、**日本ではできないことを経験すべき**という声も。実際に海外に渡り、自分の目で世界の現状を見ることは、グローバル人材に必要な感覚を養うことに繋がるのでしょうか。



グローバル人材とは、実はあなたかも知れない!?

いま日本で求められているグローバル人材とは、果たしてどのようなものでしょうか。これまでの調査やインタビューの結果から、グローバル人材に最も重要な能力は「自分を発信する力」といえます。あくまでも外国語は、相手の文化を理解し、「自分」を伝えるための手段の一つ。「自分が活躍したいと思うフィールド」を探し、好奇心の芽生えや知識の増大を経験する中で目的・目標が定まり、あなた自身にも発信力が身に付いてくるのではないかでしょうか。将来のグローバル人材は、実はあなたかも知れません。

SAプロジェクト調査を終えて

私たちがこのプロジェクトを続けられたのは、メンバー1人1人が責任感と、最後までやり通したいという気持ちを持つとともに、このプロジェクトを通して得られるものがあると確信していたからです。有志で始まった故の困難もありましたが、周りの人たちの協力やメンバーのやる気で乗り切ることができました。また、アンケート項目の作り方、分析の方法を学び、大規模なアンケート調査を行う面白さも経験できました。私たちのこの活動や結果が、後輩の手助けになることを願っています。



SAプロジェクトの皆さん: 池淵佑 池本明日香 稲岡良祐 上田恵理子 大西菜奈美 兼田真波 木下恵里加 多田拓也 田中紅樹 津口真里英 中島彬 瀧本萌 平田姫恵 松尾直 三木遥加 弓場利希也 (五十音順)

次号は、学生コラボ企画第二弾で11月1日~4日に行われる第38回 統一学園祭「学祭を盛り上げる個性豊かな実行委員」を特集4ページにわたって紹介します。乞うご期待!!



教育業界／大学職員



関西大学 入試広報グループ

## 松田綾子さん

関西大学第一高等学校出身  
2006年経済学部卒業

高校生の頃に抱いた期待や不安。  
自分の体験を交えながら、  
関大の魅力を伝えたいと思います

関西大学の入試広報グループが松田綾子さんの職場です。関西大学が毎年発行している冊子『大学で何が学べるか?』(通称ナニマナ)の制作に加え、高校生を対象にした相談会やオープンキャンパスなどのイベント運営、全国各地での相談会の企画・実施などを担当し、高校生に対して関西大学の魅力を発信しています。

卒業後、働いていた企業から母校関大へ転職を決めたのは「お世話になった大学への恩返し。役に立ちたい」と思ったから。管財課を経て現在の部署へ異動後は、自身が実感している関大の魅力を最大限、高校生にアピールすべく、頑張っています。オープンキャンパスなどのイベントでは“松田さん=関大の代表”と見られるため質問が学部のことからクラブ活動の細部にまで多岐にわたり、応えるためには常日頃から情報収集が必要だと言います。「イベントで喜んでもらえた時はもちろん嬉しいけれど、反応が芳しくない時もその生徒に大学選びのポイントを聞いて参考にしています」。また「大学職員の仕事は部署ごとに全く異なりますが、全て“学生のために”働いていることに変わりはありません。だから大学職員を志望する人はどの部署に配属されても、精いっぱい頑張ってほしい」と語っています。「大学生活ではゼミやクラブなど団体の中で、意見のぶつかり合いや答えの出ない話し合いもありますが、それも相手の立場を理解する機会になるのでどんどん経験してください」。応援団バトン・チアリーダー部のOG、現在は後輩たちの指導もしている松田さんは今も“学生のために”エールを送り続けているのです。



ある1日のスケジュール

- 8:30 出勤
- 9:00 朝礼
- 打ち合せ
- 10:00 高校生対象の大学見学会
- 12:30 昼食・休憩
- 13:30 次年度ナニマナ打ち合せ  
相談会・各種イベント企画案作成
- 15:00 出張
- 18:00 帰社 その後クラブ指導



企画アイデアや気付いたことを書き留めるための手帳や付箋と企画案の制作やイベントの記録に欠かせないタブレット。

# University Staff



共通教養科目

## 「スタディスキルゼミ (プレゼンテーション)」 岩崎千晶 准教授

考え方や調査結果を論理的に伝える「プレゼン技法」を学習。

論証型プレゼンテーションの実習から  
大学で必要なアカデミックスキルの修得を目指す。

岩崎千晶准教授の「スタディスキルゼミ(プレゼンテーション)」の目的は、初年次生が大学の学習で求められる基礎的なスキル(聞き取る、調べる、読解する、書く、発表する、議論するなど)の力を習得し、他者との円滑なコミュニケーションによって共に学習する方法を身に付けることです。この授業では特に「協同学習態度」、「課題意識」、「思考方略」、「発表態度」、「発表資料」について到達度目標を設定しています。少人数のグループワークでの協同学習を軸とした本授業では、紹介型や説明型ではない「論証型のプレゼンテーション」が求められます。ここでは分かりやすいシンプルな論証型スタイルであるPREP(P=Point of View主張、R=Reason理由、E=Example根拠、P=Point of View Restated再主張)を取り入れ、①2分間スピーチ②第1回プレゼンテーション:大学生活を円滑に過ごすために求められる力とその力を育める場所や学習の機会③第2回プレゼンテーション:課題を設定し探究する、を実施。初年次生にとって慣れない協同学習をスムーズに進行するため、身近な存在であり適切なアドバイスなどを与えられる学生をラーニング・アシスタントとして導入しています。授業冒頭の2分間スピーチでは、発表することに加えて、聞く態度や質問する態度も重視。これはプレゼンテーションに備え、他者の発表を聞き、質問することで相手に自分の意見を伝える力を養うためです。そしてグループワークの後、①学習のプロセスを振り返る②他者と自らの活動のプロセスを比較する③自らの活動と活動の到達度目標と比較する、という3つのステップで授業で学んだことを振り返ります。学生は第1回、第2回のプレゼンテーション終了後に到達度目標に対して自己評価し、教員は学生が自身の活動について客観性を持って正確に振り返ることが出来ているかを評価します。学生自身がより伸ばしていくところや改善していくべきところはどこなのかを考える機会となることが目的です。



山田幸輝さん(法学部1年次生)



もともと人前で発表することは得意でしたが論証型のプレゼンテーションは初めてでした。ここで学ぶ論理的な考え方方はレポートなど他の授業にも応用ができます。それに共通教養科目なので他学部の友人もできました。



竹内麻由さん(文学部1年次生)

2分間スピーチは構成力を付けるトレーニングになりました。グループワーク中心の授業はふだん交流のない人と話す機会が増えるので、話すのが苦手な人は克服に、得意な人も社会に出たときのためにお薦めです。

教育推進部  
岩崎千晶 准教授



自分の興味や関心のあることを調べ、課題を見つけて論理的に解決策を提案していくこの授業は新しい発見や日常の問い合わせで深めていきます。講義形式ではない自分たちが主体になって学ぶ「プレゼンテーション」の経験は大学での学びに大切なのはもちろんですが、将来、社会に出てからも役に立つはずです。

なるほど・ザ・関大!

# 校友会海外支部を知っていますか?

来年創立130周年を迎える関西大学および併設校以上の卒業生は44万人を超え、その組織「関西大学校友会」の海外支部は10を超えます。グローバル化に伴い、海外支部の重要性もそれだけ強まります。そこで今回は校友会の海外活動に目を向けてみました。海外組織は現在、韓国（ソウル）・中国（北京・上海・青島・広東）・香港・台湾・シンガポール・マレーシア（クアラルンプール）・タイ（バンコク）・ベトナム（ホーチミン）・インドネシア（ジャカルタ）・アメリカ（ニューヨーク・ロサンゼルス・シリコンバレー）・ブラジル（サンパウロ）・フランス（パリ）・インド（バンガロール）に設置されています。

## アメリカ・シリコンバレー

岸田陽世志さん（法00年卒）

在校生の皆様はじめまして。2000年法卒、シリコンバレー関大会代表の岸田です。世界屈指のイノベーションの発信地である米国サンフランシスコ・ベイエリア、通称シリコンバレーは、その名の通り半導体産業で隆盛した地ですが、近年は当地に本社を構えるAppleやGoogle、Facebookなど著名IT企業が世界を席巻しています。最近のトレンドとしては自動運転車や人工知能、再生医療などの先進的な分野に注目と投資が集まっています。

シリコンバレーの大手企業やスタートアップ企業、ベンチャーキャピタルなどで多くの校友が活躍しています。弊社はシリコンバレーで企業向けソフトウェアの開発や最新技術調査、新規事業企画を行っています。世界トップクラスの優秀な人材が集まるエリアですので、そこで生き抜くために「自分にしか提供できない価値」を正しく理解し、常に成長させることを意識しています。

近い将来、在校生の皆様の中から当校友会の仲間が増えることを期待しています。



後列左端が岸田さん

## 校友間の絆の広がり

各支部とも会員の職業や年齢はばらばらですが、関大校友というただひとつの共通点で、まるで家族のように打ち解けられるのが特徴です。いくつかの支部の動きを紹介します。

### 台湾 ↑ 関大

今年5月、大阪市北区の中華料理店・大東洋で、台湾から留学してくる新入生の歓迎会が開かれました。関大OBの大東洋グループ洪里勝信会長は、毎年台湾からの新入生歓迎会や忘年会を開いており、今回は新入生23人のほか現役留学生ら約80人が歓談しました。その3ヵ月までの2月末、台北市内のレストランでは台湾OB会の第1回例会が開かれ、27人が出席しました。この日は4月から関西大学留学生別科に入学する新入生とその家族13人も参加しました。校友からは、自らの経験に基づく留学生活のアドバイスもあり、参加した新入生の家族は、組織的なバックアップを実際に見て安心した様子でした。



台湾

### 上海 ↑ 関大

上海関大会（横田和彦会長）では、昨年12月、商学部の岡照二准教授のゼミの上海研修旅行に協力、併せて臨時例会を開催し、双方で29人が集まりました。岡准教授は、「今回の上海研修では、企業の方々の経験等を直接聞くことができ、大変勉強になったかと思います」と話しました。



ロサンゼルス

### ロサンゼルス ↑ 関大

昨年8月、ロサンゼルス千里会でも母校の国際インターンシッププログラムの開催に併せて、現役学生との交流会を開きました。ロサンゼルスでも毎年関大生15人前後が2~3週間の予定で、ビジネス研修や企業での実習などを行ない、海外での活動に備えたトレーニングを行っています。今回もこうしたメニューをこなしながら、先輩のアドバイスなどに聞き入りました。

# 社会学部3年次生 岡崎里奈さん

一貫した教育を。ラオスの子どもたちの夢の可能性を広げたい。

岡崎里奈さんが副代表を務めるボランティア団体Infinite Connection、通称「インコネ」はラオス・ノンテノイ村への教育環境の整備などの支援活動をしています。インコネは“教育の充実から国を充実へ”的考えのもと、日本で募金活動をし、現地ラオスには半年に一度のペースで赴くそうです。日本での募金活動は寄付を集めるだけではなく、“慈善活動に対する意識の向上と認知の改善”を目指し、チャリティイベントやチャリティフィットサル大会を主催して、楽しみながら貢献をしてもらうように工夫。そしてラオス入りした際は子どもたちとの触れ合いや村の現地調査、今後の活動のために現地NPOへ訪問し、自分たちの活動へ還元できるアドバイスなどを頂くなどの活動を行っています。自分たちだけではなく、村民と“共に”村の問題解決に取り組むことを大切にしています。実際、日本の学生が自分たちのために活動することに感銘を受けた村民が政府に働きかけ、都市へ向かうまでの悪路を政府の協力の下、整備してもらうことが決まりました。現地では、すでに幼稚園が開園、現在は、小学校の建設費用も達成され、建設中。日本では引き続き中学校建設に向けて募金活動中です。「幼いころメールメッセージで広がった『世界がもし100人の村だったら』を目にした時に“日本人である自分”と貧困や危険に苦しむ他国の人との間に差を感じて、ずっと世界の教育問題に関心を持ち続けてきました」。岡崎さんは大学に入学して間もなく友人の誘いでインコネを知り、単発的ではない長期的な活動に賛同。本格的にボランティアを始めたのです。今までに3度ラオスに渡航し、ノンテノイ村で出会った子どもたちの「勉強をしている時が一番幸せ」と話す元気で明るい姿から、それまで持っていた「途上国の子どもはかわいそう」という考えが間違っていたことに気付きました。そして、「物が溢れていなくとも幸せ」を知ることができたと言います。将来も、仕事をしながら国際ボランティアに携わっていきたいと言う岡崎さんは「時間や資金の問題でボランティアに興味があつてもちゅうちょしている人にはコンビニの募金箱など些細なことからでも始めてほしい」と柔らかく微笑みました。



ラオスのノンテノイ村へのボランティア活動をする



現地の子どもたちと

次回(11月号)は、岡崎里奈さんからのご紹介でクラシックバレエに力を入れている梅谷奈々さん(文3)が登場。お楽しみに!



# Rina Okazaki

# 学部・研究科トピックス

## 法学部／法学研究科

### ゼミを選ぶ

2年次生の諸君にとって、ゼミ選考の季節が始まります。専門演習履修者選考なので、形の上では諸君が選ばれる側ですが、実際は、諸君が主体的にゼミを選ぶことになります。ゼミは残り2年の大学生活の中核をなす場面です。人気ゼミがあなたにとって良いゼミとは限りません。進路との関係や楽かどうかよりも、あなたがやりたいことが大事です。自分が興味を持続できる科目をじっくり考えて選びましょう。第一希望のゼミに入れなくても大丈夫。ゼミを経験しないよりはずっといいと考えてください。

(学部長 葛原力三教授)

## 政策創造学部／ガバナンス研究科

### 学習計画を見直してみませんか？

秋学期、新たな気持ちでキャンパスに戻ってきたことと思います。政策創造学部では、学生相談委員会を設けて学業に関して学生に個別にアドバイスを行う機会を提供しています。毎年この時期には、大学での初めてのセメスターを経験した初年度生を中心とした学習指導を重点的に行ってています。春学期の成績評価を受けて大学での学びに戸惑っている方もいれば、将来的な進路との関係で学習の仕方を模索している方もいると思います。相談を希望する学生は、教務センターで申し込むようにしてください。

(三枝憲太郎准教授)

## 文学部／文学研究科 東アジア文化研究科

### 招へい研究者の講演会を開催



7月14日、ルーヴェン大学文学部Adrien Carbonnet氏の講演会が開かれました。内容は、1959年から行われた在日朝鮮人の北朝鮮への帰国事業に関わるものでした。旧東ドイツの公文書の紹介など、興味深い内容でした。視野を広げるためにも各種の講演会に奮ってご参加ください。

(副学部長 原田正俊教授)

## 経済学部／経済学研究科

### 国際シンポジウム開催



経済学部では7月31日から2日間にわたり、アジア・アフリカ間の研究交流を進める国際シンポジウム「Africa and Asia Entanglements in Past and Present: Bridging History and Development Studies」を主催しました。同シンポでは9カ国から約50人の研究者が参加、活発な議論を交わし、今後の両地域をつなぐ国際研究ネットワークの形成に重要な役割を担いました。(国際化プログラム委員長 後藤健太教授)

各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

## 商学部／商学研究科

### 「会計」に強い商学部生を目指して

商学部では「英語と会計に強い」ビジネスリーダーを養成することに力を注いでおり、公認会計士受験支援委員会は、商学部生に対し、日商簿記検定2級合格およびBATIC(英文簿記・国際会計理論)を理解できるように、さまざまな支援を行っています。今秋も大原簿記専門学校と連携した「答案練習会」を実施し、また「簿記コンテスト」を開催し、成績上位者に対して表彰を行っています。商学部在学中の公認会計士試験(短答式・論文式)合格者を多数輩出しており、今後も積極的な学生支援をしていきます。(岡照二准教授)

## 社会学部／社会学研究科

### 実験経済学の拠点形成進行中です

社会学部、経済学部、総合情報学部の教員と京大、神大、大阪府大などの若手研究者が参加する研究プロジェクトでは、本学経済実験センター経済実験室を会場に、社会人や高齢者の種々の経済行動データを収集しています。また、国際的に著名な研究者を招へいした国際会議、定例の研究会を実施しています。以上の取り組みを通じて高齢社会の日本で経済の重要な担い手となる高齢者の経済行動を明らかにし、政策提言につなげたいと考えています。どうぞご期待ください。

(小川一仁准教授)

## 専門職大学院トピックス

### 法科大学院

#### 北陽中学校の3年生を対象に模擬裁判を実施しました!

9月17日に併設校の関西大学北陽中学校の3年生117人に対し、リーガルマインドを育成することを目的として模擬裁判を実施しました。当時は、法科大学院の専任教員であり弁護士法人あしのは法律事務所の代表弁護士である大仲和教授をはじめ、同社員弁護士で本法科大学院のアカデミック・アドバイザーの太田洋一弁護士・永榮久仁子弁護士が各クラスを担当し、コンビニ強盗の事案について、シナリオに基づき模擬裁判を実施しました。(法務研究科 大和正史教授)



### 併設校トピックス

#### 関西大学第一高等学校

### 陸上競技部田中佑美さん世界へ!

陸上競技部2年生の田中佑美さんが、7月15日～19日にコロンビアのカリで開催された第9回世界ユース陸上競技選手権大会に女子100mハードルの日本代表として出場しました。予選を13秒92で通過し、準決勝では13秒64とタイムを伸ばしたもの、2組5着で惜しくも決勝進出はなりませんでした。しかし、この記録は日本のユース記録において歴代5位の好タイムです。また、8月2日に和歌山県で行われた平成27年度インターハイにおいて、女子100mハードルで13秒87のタイムを出し見事優勝しました。田中さんは2015年度高校ランキングにおいて同種目1位にランクされています。日の丸を背負う若きハードラーのさらなる活躍に期待が集まります。(生活指導部主任 伊川敦)



## システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部／理工学研究科

### 実りの秋にしませんか？

理工系学部に所属されている学生はなかなかの“熱い夏”、“充実した夏”を過ごされたのではないかでしょう？8月までの就職活動も一段落すると9月にはこれまでの研究成果を発表する学会の年次大会がめじろ押しされます。海外で自身の研究を紹介する方や複数の学会で発表される方など、授業では経験できない時間を持つことがあります。研究分野が近い専門家とのディスカッションで研究の奥深さを知り、専門分野の異なる研究者との交流で新しい視点が感じられたことでしょう。座学ではなく、自身の経験を基にした交流やディスカッションは教科書には書かれていらない自分だけの知見となることでしょう。また、一部の研

究室ではオープンキャンパスや高大・中大連携を通して“教える”難しさを感じられた方も多いのではないかでしょう？9月9日には、関西大学北陽中学校の生徒約120人が、学部4年次生または大学院生の指導の下、理工系学部のさまざまな研究を体験されました。彼らの楽しさに満ちあふれた指導で理工系学部の研究の魅力が十分に伝わったのではないかでしょうか。このような成果を伝える楽しみを知り、日頃の努力の大切さが改めて実感できたこと思います。10月からはまた授業と研究の日々が続きます。失敗にくじけることなく、コツコツと結果を追い求める秋にしてください。(化学生命工学部入試主任 松村吉信教授)

理工系学部ではこれまで第4学舎2号館(教室棟・研究棟)耐震化工事で授業・研究活動で多大なるご不便をおかけしていましたが、9月上旬の工事が完了しました。これに続き、中庭教室棟(仮称)の建設が始まっています。翌年4月には地上4階建てで新しい教室が増えることになっております。常に変化(進化)する理工系学部に期待してください。



## 2015年度秋学期 学年暦

月	学部	大学院	専門職大学院	留学生別科
10月				●秋学期授業開始(1日)
11月	●大学創立記念日(4日)※授業日			●大学創立記念日(4日)
12月	●冬季休業(26日～1月6日)		●冬季休業(26日～1月6日)<法務・会計・臨床心理>	●日本語科目試験成績発表(1日)
1月	●授業再開(7日) ●秋学期授業終了(21日) ●秋学期試験(22日～29日)	●授業再開(7日) ●秋学期授業終了(21日) ●秋学期試験(28日)	●授業再開(7日) ●秋学期授業終了(18日)<法務> ●秋学期試験(19日～30日)<法務> ●秋学期授業終了(27日)<臨床心理> ●秋学期試験(28日～30日)<臨床心理> ●秋学期授業終了(30日)<会計>	●冬季休業(26日～1月6日)
2月	●入学試験(1日～8日予定)			●授業再開(7日)
3月	●入学試験(3日～4日予定) ●卒業成績発表 ●卒業式(19日) ●在学生成績発表 ●在学生履修届受付 ●春季休業(21日～31日) ●学生終秋学期終了(31日)	●学位記(修士・博士)授与式(22日) ●在学生成績発表 ●在学生履修届受付 ●春季休業(24日～31日) ●学生終秋学期終了(31日)	●専門職学位課程修了者発表 ●在学生成績発表 ●在学生履修届受付 ●学位記(法務博士・会計修士・臨床心理修士)授与式(22日) ●春季休業(24日～31日)<法務・会計・臨床心理> ●学生終秋学期終了(31日)	●日本語集中演習成績発表(9日) ●秋学期定期試験(3日～4日) ●秋学期成績発表(10日) ●日本語集中演習(15日～26日) ●日本語集中演習成績発表(9日) ●秋学期修了式(11日) ●学生終秋学期終了(31日)

※詳細はインフォメーションシステム等で確認してください。

# 関大トピックス

## 春学期卒業式および学位記授与式、秋学期入学式を挙行

千里山キャンパスで9月18日、春学期卒業式および学位記授与式、秋学期入学式が挙行されました。

学部卒業生は、147人、大学院博士課程前期課程修了生は15人、専門職学位課程修了生は8人、博士課程後期課程修了生は7人、論文博士は4人でした。

また、秋学期入学生は、総合情報学部1人、文学研究科6人、東アジア文化研究科12人、外国語教育学研究科1人、理工学研究科5人で、新たな学びをスタートさせています。



春学期卒業式および学位記授与式

秋学期入学式

## 留学生別科春学期修了式・秋学期入学式を挙行

南千里国際プラザで9月11日、関西大学留学生別科春学期修了式が挙行されました。修了生12人は修了証書を手に、それぞれの道に向かって歩み出しました。

また、9月25日には、留学生別科秋学期入学式が行われました。中国、台湾、ベトナム、アメリカ、イギリス、韓国、フランス、ロシアの8カ国・地域65人が入学。新入生たちは、新生生活の第一歩を力強く踏み出しました。

春学期修了式



秋学期入学式

## 学生提案科目「地域の防災を考える」を実施しました

関西大学では、学生自らが学びたいことを考え、講義概要・講義計画・担任者などを立案して行う授業、学生提案科目を開講しています。今年度は春学期に行われた2科目と秋学期開講の2科目、計4科目を開講します。

そのうちの1科目である、8月4日から7日に実施した学生提案科目「地域の防災を考える」には、「私たちが普段過ごしている大学周辺の防災について、地域の方と一緒に考え、「考動力」(自ら考え、積極的に行動する力)を習得できる授業にしたい」という科目提案学生委員会に所属する学生の想いが込められ、授業が企画・立案されました。

授業は、講義パート(8月4日・5日)とフィールドワークパート(8月6日・7日)で構成。各専門家による地域防災に関する講義や、本学が立地する地域(吹田市千二地区)の調査を行い、災害図上訓練『DIG』(Disaster Imagination Game)を実践しました。

科目提案学生委員会の西田摩里子さん(法3)は、「私はこの取り組みで『傾聴の大切さ』を学びました。今後、自分の意見を通そうとするのではなく、人の意見を傾聴し自分の知識を加えた上で、情報を発信していきたいと思います」と語りました。



上段左から、森朋子准教授(教育推進部)、千二地区連合自治会副会長 雉部麻美氏、越山健治社会安全学部准教授、吹田市危機管理室 総括参事 竹嶋秀人氏 下段左から、江草麗子さん(環都3)、和田彩花さん(政策3)、西田さん



フィールドワークの様子



災害図上訓練「DIG」の様子

## 「第5回大阪マラソン」関大代表ランナーを応援しよう!

大阪府・大阪市などが主催する第5回大阪マラソンが10月25日(日)に開催されます。

関西大学は2011年の第1回目からオフィシャルスポンサーとして大会運営に協力し、大阪を盛り上げよう貢献してきました。今大会も給水ボランティア415人をはじめ、語学対応やチャリティ募金に加え、今年から新たに給水地点での清掃ボランティアを開始。今年も500人を超える関大生が大阪マラソンを支えます。また、関西大学特別枠ランナーとして20人の学生・教職員が出場予定です。大阪の街を疾走する関大代表のランナーに、声援を送ってみてはいかがでしょうか。



昨年の様子

## エクステンション・リードセンターでは就職活動を終えた4年次生等のための「入社前準備講座」を開講します

エクステンション・リードセンターでは、就職活動で内定を受けた4年次生等にお勧めする2つの講座(コース)が10月26日(月)より開講します。

内定先からは、入社までにさまざまなスキル取得を求める場合があります。「英語講座TOEIC®テスト対策コース SW<Speaking & Writing>クラス」では、社会人として必須スキルである英語について、「話す・書く」能力を向上させ、TOEIC®S&Wテストのスコアアップを目指します。また、「ファイナンシャル・プランナー講座3級FP技能士コース」では、金融や保険、不動産関係企業における資産相談の専門家としての基礎を学び、3級FP技能検定の合格を目指します。

就職して仕事を始める前に、エクステンション・リードセンターの講座を受講しながら、少しづつ自身のキャリア形成を始めてみてはいかがでしょうか。

詳細については、ウェブサイト(スマートフォン対応)および学内各所に配架している「講座案内2015」をご覧ください。  
(<http://www.kansai-u.ac.jp/extension/index.html>)

よもやまばなし

## 関大人 四方山話◆「単純作業の恩恵」 政策創造学部 三枝憲太郎 准教授



7月号の当欄に総合情報学部の青山先生が書いておられた「竹ヤブ遊び」のお話を読んで、ふと昔のことを思い出した。大学院時代、朝から晩まで机に向かっていてノイローゼになりそうだったので、週末ぐらいは別のことをしよう、と自然保護のボランティアを始めたのである。イギリスではそといった活動がとても盛んに行われている。自然保護区で植林をしたり、伐採をしたり、外来種の植生の駆除をしたり、遊歩道や石垣を建設したり、いろんなことをさせてもらった。結構大

きな木を切り倒したり、丸太を肩にかついだまま山道を歩くことができるようになったのはこの時の経験のおかげだ。でも、僕がそういう作業で気に入っていたのは、(青山先生とは違って)ほとんど頭を使わなくていいことだった。基本単純な肉体作業を延々と続けると1日が終わる、目の前にはっきりとした成果が広がる。すごく気持ち良かった。帰国してからは、そいった活動からとんと遠ざかっています。どうしてだろう?もしかすると普段頭をほとんど使っていないからだろうか。

## 編集後記

今月号の特集で報告されている、学生有志の調査結果では、グローバル人材のイメージが、各学部の持つ雰囲気や学問内容に影響されている可能性が見えてきました。つまり、私たち自身が置かれている文脈により、グローバル人材の捉え方が異なるということです。実際の社会でも、文脈によって「グローバルに働く」という意味や、必要なスキル・資質が変わる、ということが指摘されていますが、今回の調査は、これらの研究結果とも一致する、非常に興味深いものとなっています。

(広報委員・外国語学部 助教 植木美千子)



## 関西大学通信 "KANDAI STYLE"

発行日: 2015年10月1日(年9回発行)

発行: 関西大学広報委員会

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

電話: 06-6368-1121(大代表)

## 今月の表紙

大阪マラソン2015関西大学特別枠ランナー  
斎藤豪久さん(政策2) 小林真希さん(人2)

大阪市中央公会堂前にて撮影

※表紙写真を募集します。

本誌12月号の表紙は、関大生の皆さんから素敵な写真を募集します。

詳しくは、インフォメーションシステムのお知らせをご覧ください。